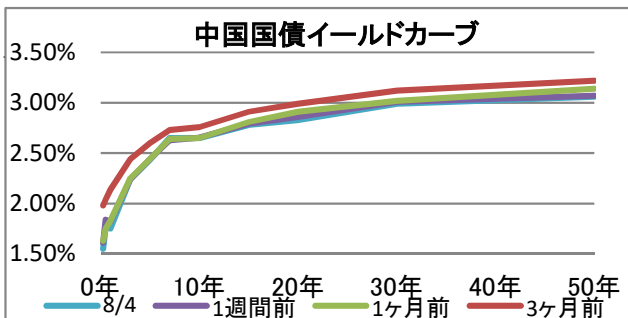
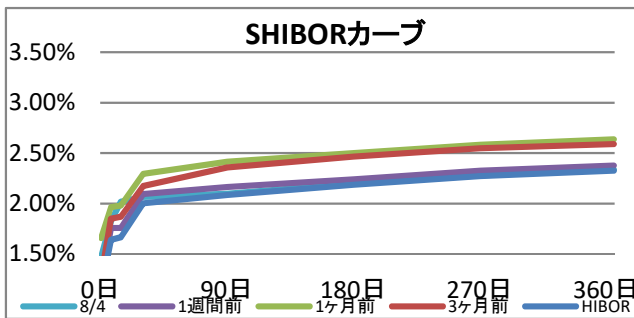


基準レート		2023/8/4	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1418	+0.0080
	JPY/CNY	5.0310	-0.1181
SHIBOR	3M	2.0850%	-0.0130%
国債利回り	10年	2.65%	-0.01%
上海総合指数		3,288.08	+12.16



(1) 概況

国際金融市場では、雇用統計を控えた週の初めに大手格付会社による米国債格下げが公表され、債券利回りが上昇したことや、企業決算や高値警戒感から株式市場は下落に転じていたが、雇用統計がFRBの追加利上げ懸念をやや後退させる内容となったことから、債券利回りは上げ幅を縮小して週末を迎えている。為替市場では、米ドルの格下げによる影響も限定的で、雇用統計を控えて小動きとなる典型的な夏枯れ相場の様相となり、雇用統計後は小幅なドル安となっている。

中国金融市場では、政府各部門から公表された景気対策の具体策の乏しさや景気の先行きに対する懸念が強く、債券市場では利回りが低下し、為替市場でも海外との金利差拡大もあって当局の基準値元高設定が続くも元安が進行。株式市場も週半ばまでは下落していたものの、国営メディアによる株式投資の資産効果報道に加え、国家発展改革委や人民銀行の共同記者会見での景気支援への協力強調方針等を受けて小幅反発。

中国では、国務院が20条に亘る消費の回復と拡大措置を、国家発展改革委員会等が、中小企業への金融支援強化を含む「民営経済の発展促進に関する若干の措置」を、中国財政部が中小零細企業向け減税措置をそれぞれ公表。人民銀行の潘行長は下半年工作会議で、的を絞った有効で穏健な金融政策の継続やクロスボーダー資金チェックとマクロブルーデンス管理強化により人民元レート安定を維持する方針を示し、民営企業との座談会では、民営経済発展のための金融支援方針を改めて強調し、同行貨幣政策司長は記者会見で、預金準備率引下げや公開市場操作、MLF等を柔軟に活用し、銀行システムの流動性について合理的なレベルを維持する方針を示す。また、人民銀行は、銀行間債券市場の利便性向上のため「銀行間債券市場プラットフォーム業務に関する事項の通知（パブコメ）」を公表し、証監会は、証券会社から資本市場活性化策について意見を聴取し、上場企業の独立董事管理法や証券会社のコア取引システム技術指標等の業界標準を公表。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期3410億元に対して、リバースオペ530億元を実施し、ネットで2880億元を吸収。

(3) 主な経済指標

- ・ 国家統計局PMI (7月) は、製造業が49.3% (6月、49.0%)、非製造業が51.5% (同、53.2%)、総合が51.1% (同、52.3%) と、製造業は改善ながら4カ月連続で分岐点の50%を下回り、非製造業も4カ月連続で低下しており、総合でも4カ月連続の低下となった。製造業のサブ指数は、新規受注が若干改善するも、生産や雇用が悪化し、非製造業では、航空運輸やIT関連は好調だったが、不動産等の不振が続いている。
- ・ 財新PMI (7月) は、製造業が49.2 (6月、50.5) と、輸出等の新規受注や生産が悪化し、分岐点を3カ月振りに下回り。サービス業は、54.1 (同、53.9) と若干改善したものの、総合では、51.9 (同、52.5) と製造業の悪化を主因に低下。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.1410%	1.3500%	1.7500%	
1W	1.6400%	1.6400%	1.8000%	
2W	1.6660%	1.7000%	1.8000%	1.5500%
1M	2.0040%	2.2000%	2.2000%	1.7500%
3M	2.0850%	2.5700%	2.0500%	1.9700%
6M	2.1870%	2.3500%		2.1400%
9M	2.2710%			2.2500%
12M	2.3250%	3.5000%		2.2600%

月初の資金余剰を人民銀行が吸収している状況下、当局から市場流動性確保に向けてあらゆる政策を動員する姿勢が改めて示されており、具体策への言及はなかったものの、金利水準は概ね低位で安定している。ターム物の出合いは、1ヶ月の1.9%前後で取引されている。

NCDも高水準での発行が続いているものの、ターム物は、1ヶ月が1.75%前後、3ヶ月が1.9%台後半、6ヶ月が2.1%台前半、1年が2.2%台に低下して取引されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	5.35%	5.36%
1W	5.40%	5.45%
1M	5.55%	5.60%
3M	5.70%	5.75%
6M	5.75%	5.80%
12M	5.80%	5.90%

引き続き中国国内市場のビッドしっかりの状況に変化はなく、ターム物は、1ヶ月が5.5%台後半、3ヶ月が5.7%台で取引引きされている。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.55%		2.02%	2.12%	2.29%
6M	1.77%		2.14%	2.22%	2.39%
1Y	1.75%	1.99%	2.29%	2.41%	2.61%
3Y	2.24%	2.33%	2.63%	2.75%	3.34%
5Y	2.43%	2.54%	2.78%	3.01%	3.71%
10Y	2.65%	2.85%	2.96%	3.22%	4.02%

米国債券市場では、週末に雇用統計を控え神経質な展開が予想される中、週初に大手格付会社の米国価格下げが伝わりとじりじりと利回りが上昇、雇用統計が景気の安定を示す内容でその後のFRB高官発言も手伝って利回りは今週に入ってからの上げ幅を急速に縮小して週末を迎えた。中国債券市場では、人民銀行や発展改革委のあらゆる金融政策手段を活用する方針を受け、利回りは低下を続けている。この結果、米国の10年国債利回りは4.03%（前週比+8bp）に上昇する一方、10年中国国債利回り2.65%（同、-1bp）は低下に転じ、利回り差は+138bp（同+9bp）と拡大が続いている。

中国債券のイールドカーブは、短期を中心に低下に転じ、スティーピングに転じている。クレジットスプレッドは、利回りの低下が、短期では利率債が、中長期では信用債が相対的に大きかったことから、短期で拡大し、中長期では縮小している。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-235.0 / -233.0
3M	-702.0 / -698.0
6M	-1373.0 / -1368.0
9M	-1973.0 / -1968.0
12M	-2492.0 / -2490.0

対ドル基準レートは7.1418と前週末比+80pipsのドル高元安、対円基準レートは5.0310と同-1181pipsの円安元高と、元高水準での設定が維持されている。中国国内市場では、政府の景気対策や景気改善への期待を背景に、人民銀行が基準レートの元高設定を続けていることから、元高に戻す局面も見られて元安進行を遅らせる効果は確認できるものの、金利差拡大も手伝って下値ではドル買いが入り、7.18台に上昇して週末を迎えている。

先物は、先行き不透明感が強い中で、引き続き直物市場がレンジ内での取引となったことや、金利差が拡大していること等を背景に、スワップのマイナス幅がやや拡大する程度の小幅な変動に止まり、1年物は先週同様に-2400台後半での取引が続いた。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.88%		1.59%
6M	1.93%	2.11%	1.46%
9M	1.95%	2.14%	1.50%
1Y	1.98%	2.17%	1.60%
3Y	2.23%	2.46%	1.95%
5Y	2.46%	2.76%	
7Y	2.62%	2.94%	
10Y	2.73%	3.03%	

スワップ金利は、利率債利回りの低下を受けて短期を中心に低下に転じている。債券利回りとの差であるスワップスプレッドは短期金利の低下や信用スプレッドの縮小から小幅な縮小に転じている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまようようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入